

「科学雑誌で学ぶ日本語Ⅱ」作文練習 01

木下大輔

2022年02月16日

1 第一問

「何度もダイエットに挑んでは失敗しているという人は、ダイエットを継続できず、結果を出せない自分を責めてしまうことがあるかもしれない。」という文がありました。「…かもしれない。」を含む文を作りなさい。

2 第二問

「人類が食に不自由しなくなったのは、歴史の中でみると、ごく最近のことにすぎない。」という文がありました。「…にすぎない。」を含む文を作りなさい。

3 第三問

「だが、『飽食の時代』といわれる現代においては、そのしくみはむしろ足かせとなり、肥満を押し進める一因になっている。」という文がありました。「…むしろ…」を含む文を作りなさい。

4 第四問

「だが、食欲に負けてつい食べすぎてしまい、なかなかそれができないことが多い。」という文がありました。「…つい…」を含む文を作りなさい。

5 第五問

「おいしいものをたくさん知っている私たち人間の場合は、なおさらその傾向は強まるだろう。」という文がありました。「…なおさら…」を含む文を作りなさい。

6 第六問

「たくさん食べて、おなかがいっぱいになったはずなのに、おいしそうなデザートが出てくると、ペロリと平らげてしまった—そんな経験がある人も少なくないだろう。」という文がありました。「…はず…」を含む文を作りなさい。